令和4年度　事業報告書

障害児通所支援　　第2ちゃーむ

生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 中 活 動	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの子どもの欲求を十分満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。	自ら宿題を行い、個別課題等にも意欲的に取り組む様子が多く見られた。いろいろな遊びを提案したり行事やゲームを通して友達との適切な関わり方や集団でのルールを学ぶことができた。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園や海洋博物館、公共の施設への外出を通して、基礎体力と心身の健康増進を図る。	アクアマリン見学、近隣散策や公園遊びでは公の場所でのマナーを学んだり、運動遊びを取り入れ健康増進につながった。また、きゅうりやトマト、さつま芋の苗植えと収穫を行い、食への興味が広がった。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指先を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げていく。	作品を完成させることで達成感を持ち、季節を感じたり家族にも喜んでいただくことができた。
	体操教室 運動遊び・体幹トレーニング	通年	全員対象	体操教室 （年4回程度） 運動遊び・体幹トレーニング 週1回	楽しく体を動かすことで、走る・転がる・飛び跳ねる・渡るといった基本的な動作を養い、体の動きをコントロールすることで、苦手な動作や不器用さの改善を図る。	いろいろな動きをすることで苦手だった動作ができるようになり、体力の向上にも繋がった。外部講師を招いての体操教室は行えなかった。
	リトミック	通年	全員対象	週1回	楽しく音楽と触れ合いながら、基本的な音楽能力を伸ばすとともに、身体的、感覚的、知的にも、子どもたちが個々に持っている潜在的な基礎能力の発達を促していく。	音楽への興味が広がり、音の高低や速さ、拍子を聴きわけ、楽しみながら注意力や基本的な音楽能力を伸ばすことができた。色々な楽器やハンドベルの活動も取り入れ、協力して曲を演奏する楽しさと達成感を得ることができた。
	スヌーズレン	通年	全員対象	通年	聴覚・視覚・触覚・味覚・嗅覚の五感を使って、トータルリラクゼーションの心地よい空間を提供する。	各自が自分の心地よい過ごし方で過ごしていた。気持ちの安定を図るスペースとして活用することもあった。
	キッズヨガ	通年	全員対象	月2回	心と身体両方に作用するヨガを通して健康な身体を作ると同時に、精神の落ち着きを得ることで自己肯定感などを高め、豊かな人間性を育成することを目的に行う。	静かな環境で活動することで気持ちが落ち着き、いろいろなポーズを通して体幹や柔軟性を養うことができた。
	フラ体操	通年	全員対象	月1回	フラダンスをベースとした体操で脳の活性化、健康促進を目的に行う	親しみのある曲では、歌を口ずさみながら踊りを楽しむ様子が見られた。

	就労体験	通年	高学年対象	年2回程度	将来を見据え、いろいろな仕事や施設を見学、体験することで、就労について考えるきっかけを作り、意識を高めていく。	虹のかけはし、しおさい、天真庵での仕事を体験し、「就労」に対しての意識向上につながった。また、保護者から意外な一面を感じることができたとの話もあった。
	美化活動	通年	全員対象	月1回	花壇の整備、草むしり、窓ふき等、環境美化活動を行う	意欲的に取り組む利用者も多く、活動を通して物を大切にすることや清潔に対しての意識向上につながった。
B 各種療法	療法的な音楽の時間	通年	全員対象	月1回	いわき音楽療法研究会MusicForestのご協力のもと、音楽を聴いたり、歌ったり、楽器を鳴らしたりする中で心や体を刺激し、生活向上と機能回復を目的とする。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になった月もあったが、いろいろな楽器に興味を持ち、協力したり音楽に合わせて身体を動かし、季節を感じながら楽しむことができた。
	造形活動	6月	全員対象	年1回	粘土を捏ねたり、握ったりする作業から、手指の発達を促す。子供たちの創造性を育み、作ることの楽しさや喜びを体験する。	紙粘土を用いて行った。作りたい作品を各自で考え、デザインや色に工夫が感じられ「自分の作品」という達成感を持つことができた。
	遊戯療法	通年	全員対象	通年	遊びを通して、自らの問題状況や、言語化できない感情を表現することを目指す。	職員と1対1での活動や決められたルールで行う集団での活動を通して、感情の表現やコントロールを学ぶことができた。
C 療育	SST （社会生活技能訓練）	通年	全員対象	通年	人との関わり・行動をより適切で効果的に行うことができるよう社会的スキル訓練を行う。また、学習理論（行動理論）に基づく技法を用いて体系的、意図的に対象者の技法形成を図る構造化された方法で本人の強さを引き出す。	個々に合わせたスキルアップワーク等の教材を使用しての学習や、絵カードを使用したり様々な活動の場面で練習することで、他者との関わり方や適切な行動、会話等のスキルの向上を図った。
	太田ステージ	通年	全員対象	通年	太田ステージ評価用具を使用した評価を行うことで、客観的に個々の発達段階を把握し、各発達段階に応じた療育につなげていく。	共通のツールで評価することで、客観的な発達段階の共通理解につながった。
	TEACCH	通年	全員対象	随時	周囲の状況を自分の力で理解し、自分に必要な情報を選び出し、適切な行動ができるよう障害や能力に合わせて構造化した環境を整え視覚的支援をする。	室内の環境整備と全体のスケジュールや必要に応じて個別のスケジュールを提示することで見通しを持って活動できた。また、写真や絵カード等の視覚支援も交えて様々な場面で自分で「選択」できる機会を設け、意思決定ができるよう支援を行った。

関係機関との連携強化

D 関係機関連携強化	児童発達支援	通年	児童発達児	通年	身近な地域の障害児支援の専門事業として、通所利用の障害児の受け入れだけではなく、地域の障害児・その家族を対象とした支援や保育所等の障害児を預かる施設に対する援助を行う。	幼稚園見学を実施して共通理解を図り、発達段階に合わせた療育を提供することで、保護者からも成長が感じられるという声を頂いた。関係機関と保護者も参加した支援会議や入学前に小学校にて支援会議を行い、情報を共有した。
	家族支援	通年	全員対象	通年	不安をかかえている保護者に対する心理的なケアや家庭における療育方法の支援、利用者の兄弟に対する支援の促進など、家族を含めたトータルな支援を図っていく。	連絡帳や迎え時に保護者とコミュニケーションを図り、定期的にアンケートを実施することでニーズに合わせた支援を行った。
	ケアマネジメント	随時	各関係者	随時	支援の切れ目が生じないように、各機関との連携を図る。	必要に応じて地区センターや学校、相談事業所と協力をし、支援会議を開催した。
	法人内連携	随時	法人内関係者	随時	相談支援事業を通し、本人や家族が必要としている制度の説明やサービス等を安心して利用できるよう円滑化を図る。	個々に合わせた必要なサービスが提供できるよう、相談事業所と連携を行った。

地域力を高める

外食	5月 7月 1月 3月	一部利用者 （22名）	年2回程度	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	事前にメニューを伝えたことでスムーズに選択でき、支払いも自分で行った。また、当日に予定していなかったものを購入する等、自己決定の機会を持つことができた。
買い物	4月 9月 12月（訪問）	一部利用者 （15名）	年3回程度	自己選択・自己決定を尊重し、地域での自立や社会参加を促進する。	買い物を楽しみに待つ様子が感じられた。財布やエコバックを準備したりと、選択から支払いまでの一連の流れを学ぶことができた。
ボランティアの活用		全員対象		ボランティアの受け入れを積極的に行うことにより、障害児通所支援の認知を広める。	希望者がいなかったため、受け入れはなかった。
公共の交通機関の利用	11月	一部利用者 （6名）	年2回程度	就労を見据えて、公共の交通機関利用（バス・電車）の訓練を行う。	バスに乗車し、マナーや支払い方法について学習できた。

社会貢献

実習生の受け入れ	通年	全員対象	通年	実習生を積極的に受け入れ、障害児に対する支援や交流等を通し福祉人材の育成に貢献する。	希望者がいなかったため、受け入れはなかった。

高齢者との交流		全員対象		子供たちと高齢者とのつながりが希薄になっている状況において、子どもたちの豊かな人間性を育むとともに、子供たちが高齢者と触れ合い、高齢者から学んでいくことを目的とする。	高齢者施設訪問は行わなかった。各自で祖父母と交流するきっかけになるよう、敬老の日に向けてプレゼントを製作した。
地域の清掃活動	通年	全員対象	通年	近隣の公園や公共施設のゴミ拾い等を行い、地域の環境保全に協力する。	室外活動の際、公園でのゴミ拾いを実施し、公共のマナーについて学習する機会となった。

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和4年4月 ～ 令和5年3月	a. 職員会議（毎月） b. 個別支援方針決定会議（随時） c. 権利擁護委員会（随時） d. 権利擁護委員第3者との懇談会（2月） e. 次年度事業計画策定会議（12月～2月） f. 行事計画会議（随時） g. サービス担当者会議（随時）
B. 監査	令和4年7月	・法人内部監査

研修に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
法人外	令和4年5月	・強度行動障害基礎研修
	令和4年7月	・集団指導
	令和4年8月	・感染症の蔓延防止を目的とした勉強会
	令和4年9月	・令和4年度第1回障害児通所支援事業所連絡会
	令和4年10月	・障がい者虐待防止対応研修
	令和4年11月	・児童虐待防止啓発講演会
		・令和4年度福島県サービス管理責任者等実践研修
	令和5年1月	・地域における公益的な取組推進セミナー
		・障がい児者虐待防止対応研修会
	令和5年2月	・発達障がいの理解と支援
	令和5年3月	・児童発達支援管理責任者フォローアップ研修
		・令和4年度サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者・相談支援専門員フォローアップ研修
		・令和4年度第2回障害児通所支援事業所連絡会

その他の事業

見学者	月	見学者名（団体名）	内容
	2月	ステップワン	施設見学

令和4年度　活動内容実績

第2ちゃーむ

月	児童発達支援			放課後等デイサービス			総計	延人数		
開所日数	(幼)男子	(幼)女子	合計	(児)男子	(児)女子	合計		男子	女子	合計
4月 (26)	3	0	3	20	11	31	34	194	95	289
5月 (26)	3	0	3	20	11	31	34	188	97	285
6月 (26)	3	0	3	20	11	31	34	206	104	310
7月 (27)	3	0	3	20	11	31	34	200	100	300
8月 (26)	3	0	3	20	11	31	34	117	75	192
9月 (26)	3	0	3	20	11	31	34	177	91	268
10月 (26)	3	0	3	19	11	30	33	195	99	294
11月 (26)	3	0	3	19	11	30	33	183	92	275
12月 (25)	4	0	4	19	11	30	34	186	87	273
1月 (24)	4	0	4	19	11	30	34	175	90	265
2月 (24)	5	0	5	19	11	30	35	180	92	272
3月 (27)	5	0	5	19	11	30	35	208	111	319
合計	42	0	42	234	132	366	408	2209	1133	3342

利用者数（3月現在）

幼児	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	計
5	1	3	5	1	1	2	18

中学1	中学2	中学3	高等1	高等2	高等3	計
2	1	4	7	1	2	17

学校名

未就園	保育所	幼稚園	いわき支援	富岡支援	好間一小	湯本一小	高坂小	合計
1	3	1	26	1	1	1	1	35

障害種類

自閉症	ダウン症	知的障害	肢体不自由	その他	合計
19	4	5	0	7	35

手帳等級

療育A	療育B	手帳なし	合計
17	14	4	35

生活支援に関する事業

実施事業名		実施月	実施状況		主な実施内容	結果
			参加人数	実施回数		
A 日中活動	室内活動	通年	全員対象	毎日	一人ひとりの利用者の欲求を十分に満たし、生命の維持と情緒の安定を図る。	令和4年度は日中一時支援事業を利用する児童がいなかった。
	室外活動	通年	全員対象		近隣の公園・公共の施設の外出を通して基礎体力と心身の健康の増進を図る。	令和4年度は日中一時支援事業を利用する児童がいなかった。
	製作活動	通年	全員対象	月1回	手・指を使うことで日常生活活動能力の向上を目指す。また、製作活動を通して達成感を味わい自信に繋げる。	令和4年度は日中一時支援事業を利用する児童がいなかった。

会議および監査に関する事業

実施事業名	実施月	主な実施内容
A. 会議	令和4年4月 ～ 令和5年3月	a. 職員会議（毎月） b. 個別支援方針決定会議（随時） c. 権利擁護委員会（随時） d. 権利擁護委員第3者との懇談会（2月） e. 次年度事業計画策定会議（12月～2月） f. 行事計画会議（随時） g. サービス担当者会議（随時）
B. 監査	令和4年7月	・法人内部監査

その他の事業

見学者	月	見学者名（団体名）	内容
	2月	ステップワン	施設見学

令和4年度　活動内容実績

日中一時支援事業　　第2ちゃーむ

月	未就学男子	未就学女子	合計	小学男子	小学女子	合計	中学男子	中学女子	合計	高校男子	高校女子	合計	総計	延人数		
														男子	女子	合計
4月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月(27)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月(26)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月(25)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月(24)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月(24)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月(27)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

利用者数

幼児	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	計
0	0	0	0	0	0	0	0

中学	中学2	中学3	高等1	高等2	高等3	計
0	0	0	0	0	0	0

学校名

未就学	保育所	幼稚園	いわき支援	富岡支援	好間一小	合計
0	0	0	0	0	0	0

障害種類

自閉症	ダウン症	知的障害	肢体不自由	その他	合計
0	0	0	0	0	0

手帳等級

療育A	療育B	合計
0	0	0